

# 山形県の新型インフルエンザ対策

現在、新型インフルエンザが流行しています。  
今後さらに感染の広がりが予想されていることから、県では以下のような対策を進め、県民の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。

## 治療薬を備蓄しています

- 治療には抗インフルエンザウイルス薬(タミフル、リレンザ)が有効です。
- 県では現在 14 万人分の治療薬を確保していますが、今後さらに備蓄を進めます。
- 市場に不足が生じた場合は、県の備蓄薬を供給します。
- それでも不足が生じた場合は、国の備蓄薬が供給されます。

## 医療体制の充実を進めています

### 外来体制

- 医師会から協力いただき、県内 630 医療機関で受診できるようになりました。
- 医療スタッフの感染防止のため、マスク・手袋などを県が提供します。
- 院内感染防止のための設備整備を進めます。

### 入院体制

- 入院用ベッドを 13 病院で 529 床を確保しています。
- 重症患者に対応する医療機関に対して、人工呼吸器等の配備を強化しています。

## ワクチン接種の準備を進めています

- 現在、国内の製薬会社が急ピッチでワクチンを製造しています。
- さらに、輸入による確保も予定されています。
- 医師会の協力を得ながら、接種できる医療機関の調整を進めます。

## 情報提供や相談に対応しています

- 各保健所に「発熱相談センター」を設置しています。
- 一般県民向けに「インフルエンザかもしれない？ そう思った方は？」、「自宅療養の手引き」などを作成し、情報提供しています。
- 医療機関向けに「インフルエンザ外来診療の手引き」を作成し、情報提供しています。

## (秋冬以降の重点項目)

本格的な流行が懸念されるこれから秋冬にかけては、特に以下の取り組みに力を入れてまいります。

### ■ ワクチンの接種事業を進めます

- ⇒ ・接種できる医療機関の在庫量を把握し、スムーズな流通を確保します。
- ・既設の「発熱相談センター」などを有効に活用して、ワクチン接種についての適切な情報提供とともに、相談体制を充実・強化します。

### ■ 重症化防止のための治療薬の安定供給を図ります

- ⇒ ・重症化の防止には抗インフルエンザウイルス薬(タミフル、リレンザ)の早期投与が有効なことから、流通在庫量を把握し、備蓄薬を活用して医療機関への安定供給を図ります。

### ■ 重症化した場合の医療体制を確保します

- ⇒ ・妊婦の方、透析患者の方、小さいお子さんなどが重症化した場合に備え、地域ごとに重症患者受入れ病院を事前に定め、スムーズに入院できるようにします。
- ・医師会などを通じて、各医療機関に対して重症患者受け入れ病院の情報を提供します。

○県民の皆さん一人ひとりが「感染は自分が止める」という気持ちを持って、今後の感染拡大を乗り越えていけるよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

○健康な方の大多数は比較的軽い症状で回復していますが、妊婦の方、慢性疾患のある方、小さいお子さん等は重症化する可能性があります。熱などの症状が出た場合は、すぐにかかりつけの医療機関にご相談ください。

お問い合わせ先  
山形県ホームページ

県庁保健薬務課 感染症予防担当 TEL 023-630-2315 FAX 023-632-8176  
[http://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090005/new\\_medical\\_systems.html](http://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090005/new_medical_systems.html)